

“明治のピアノと奏でる ロビーコンサート”

7月1、2日、4年ぶりに二葉祭が一般公開されました。2日に同窓会は、生徒会と共催で「明治のピアノと奏でるロビーコンサート」を開催いたしました。出演者を広く募り、生徒と保護者を中心とした同窓生や職員など10組16名の皆さんに演奏していただきました。



明治のピアノは、明治44年初代岩垂今朝吉校長の時代、岡見山校舎新築の折に当時の500円の予算を組み二葉高女専用のピアノとして購入されたものです。そのピアノを百周年記念事業として同窓会で修理復元いたしました。その後、毎年秋にロビーコンサートを開き、演奏会を行ってきました。

今年度は多くの方々が集まる文化祭で、経験の程度を問わず、明治のピアノを弾いて発表したい人を募り、在校生のソロ、デュオ、親子、同窓生デュオ、同窓生と保護者、教師と教え子、の皆さんによる、ピアノソロ、連弾、歌とピアノ、ギターとピアノ、チェロとピアノ、ドラムとピアノなど、多くの方たちに多様な楽器、ジャンルの演奏を発表していただきました。

明治のピアノの音色や同級生の演奏を聴いた方たちは、伝統を感じさせられるピアノの重厚さや、発表者の真摯な気持ちで生き生きと奏でる音楽に引き込まれ、ともに楽しんで聴いていただけた様子でした。

今から110年以上も前、女子教育の必要性を強く訴えた岩垂校長の思いを馳せ、今もこうして明治のピアノが二葉高校に関係する方たちを繋ぎ、二葉高校のすてきな一面を改めて感じさせていただいたことに感謝の思いでいっぱいになりました。出演して下さった皆さま、聴いて下さった皆さま、また、開催にあたり、ご協力いただきました方々に心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

